

平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 日本フォームサービス株式会社
 コード番号 7869 URL <http://www.forvice.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長代理
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山下 岳英
 (氏名) 小坂 嘉彦

TEL 03-3636-0011

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	2,663	1.5	7	△91.0	36	△67.9	20	△80.9
26年9月期第3四半期	2,624	△19.1	81	△18.7	115	△9.1	108	55.3

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 25百万円 (△76.7%) 26年9月期第3四半期 109百万円 (51.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	5.19	—
26年9月期第3四半期	27.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	4,662	3,065	65.7
26年9月期	4,999	3,059	61.2

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 3,065百万円 26年9月期 3,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,123	14.3	176	57.7	206	35.3	90	4.7	22.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期3Q	4,020,000 株	26年9月期	4,020,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年9月期3Q	36,712 株	26年9月期	36,299 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期3Q	3,983,371 株	26年9月期3Q	3,984,568 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用情勢は緩やかな回復基調が続くなか、個人消費マインドには依然弱さが見られ、円安による継続的な原材料の価格高騰など多くの懸念材料が見受けられます。さらに、ギリシャの債務問題、新興国の経済の減速懸念等、依然先行きは不透明な状況にて推移しております。

このような状況の下、当社グループの売上高は26億6千3百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は7百万円（前年同期比91.0%減）、経常利益は3千6百万円（前年同期比67.9%減）、四半期純利益は法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額を1千6百万円計上したことから、2千万円（前年同期比 80.9%減）となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

当社グループの主力であります函物及び機械設備関連事業におきましては、新製品の投入がおくれてはおりますが、19インチラックにおいては高付加価値製品の拡販、アーム関連製品については医療機器メーカーに対応するカスタム製品の拡販およびマルチ関連製品として金具・スタンドの販売強化を行うことを推進してまいりました。しかし、官公庁等への販売予定が第4四半期にずれ込んだこと、また、再生エネルギー関連製品においては、陸屋根向け架台案件を含む太陽光システム新規案件が第4四半期以降にずれ込んだこと等から、計画通りの売上を確保することができませんでした。その結果、売上高は21億8千8百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

利益面につきましては、再生エネルギー関連製品においては仕入品の販売により薄利多売であったこと、継続して高騰する原材料費の見直しや生産効率の向上、諸経費等のコスト削減に取り組んでまいりましたが、社内製造製品を計画よりも取り入れることができなかつたこと等から、売上総利益を確保することができませんでした。以上のことから、セグメント利益（経常利益）は7千万円（前年同期比57.0%減）となりました。

一方、介護関連事業におきましては、国内の高齢化が進むことにより、介護サービスの需要はさらに高まっております。その一方で、各介護事業者に対して法令遵守を徹底した経営が求められるとともに、介護福祉士等有資格者の人材確保が依然として困難な状況が続くなど、厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループの在宅介護サービスにおきましては、訪問看護および居宅介護支援の稼働率が上がってはいるものの、通所介護および訪問入浴介護のサービスにおいて利用者の減少および利用者単価が下がったことにより、売上高は3億4千1百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

また、地域密着型介護サービスにおける小規模多機能型居宅介護において、利用者単金は上がってはいるものの、利用者が減少したことの影響が大きく、認知症対応型共同生活介護は居室稼働率が上昇してはおりますが、売上高は1億3千3百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

以上の結果、介護関連事業（在宅介護サービス及び地域密着型介護サービス）における売上高は4億7千4百万円（前年同期比0.9%減）となりました。利益面に関しては、売上高は減少したものの、コスト削減および新規サービス拠点の開設により見込んでいました初期投資費用が掛からなかつたこと。また、サービスの充実および新規事業を見据えた人材の新規採用を行った結果、セグメント損失（経常損失）は3千3百万円となり、前年同期比で1千5百万円の改善がなされました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の合計は、46億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億3千6百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が1億6千6百万円、受取手形及び売掛金が2億8千万円減少したことに対し、有形固定資産が6千8百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、15億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億4千2百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金が5千3百万円、短期借入金が4千7百万円、1年内返済予定の長期借入金が4千3百万円及び長期借入金が1億1千3百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、30億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて5百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益（純資産の増加）が2千万円及びその他有価証券評価差額金の増加が4百万円あったことに対し、剰余金の配当（純資産の減少）が1千9百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月13日公表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	518,817	352,561
受取手形及び売掛金	759,328	479,263
商品及び製品	71,294	79,102
仕掛品	36,229	37,585
原材料	156,201	167,328
繰延税金資産	18,560	20,041
未収還付法人税等	-	20,323
その他	22,836	28,262
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	1,583,019	1,184,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	748,582	725,120
機械装置及び運搬具(純額)	188,925	167,800
土地	2,204,541	2,197,349
リース資産(純額)	148,152	119,918
その他(純額)	9,443	157,589
有形固定資産合計	3,299,646	3,367,778
無形固定資産	10,348	8,698
投資その他の資産		
投資有価証券	25,705	33,660
その他	80,971	68,375
投資その他の資産合計	106,677	102,035
固定資産合計	3,416,672	3,478,513
資産合計	4,999,692	4,662,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	180,624	127,382
短期借入金	659,000	611,500
1年内返済予定の長期借入金	209,160	166,160
リース債務	32,974	23,646
未払法人税等	61,539	12,575
賞与引当金	24,300	39,775
その他	223,423	191,106
流動負債合計	1,391,022	1,172,145
固定負債		
長期借入金	226,239	112,369
リース債務	126,511	107,081
役員退職慰労引当金	104,916	107,953
繰延税金負債	52,864	52,760
長期未払金	37,089	43,850
その他	1,520	1,520
固定負債合計	549,140	425,535
負債合計	1,940,162	1,597,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,950	395,950
資本剰余金	230,000	230,000
利益剰余金	2,444,421	2,445,188
自己株式	△15,130	△15,240
株主資本合計	3,055,240	3,055,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,288	9,153
その他の包括利益累計額合計	4,288	9,153
純資産合計	3,059,529	3,065,052
負債純資産合計	4,999,692	4,662,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,624,979	2,663,201
売上原価	1,886,527	2,008,120
売上総利益	738,451	655,081
販売費及び一般管理費	657,380	647,761
営業利益	81,071	7,319
営業外収益		
受取利息	55	73
受取配当金	276	343
補助金収入	26,112	22,368
その他	23,352	19,945
営業外収益合計	49,797	42,730
営業外費用		
支払利息	11,855	9,630
支払手数料	2,220	1,800
手形売却損	1,600	1,329
その他	67	325
営業外費用合計	15,743	13,085
経常利益	115,125	36,964
特別利益		
固定資産売却益	92,342	-
特別利益合計	92,342	-
特別損失		
固定資産除却損	2,009	1
特別損失合計	2,009	1
税金等調整前四半期純利益	205,458	36,963
法人税、住民税及び事業税	95,320	19,846
法人税等調整額	2,039	△3,568
法人税等合計	97,359	16,277
少数株主損益調整前四半期純利益	108,098	20,686
四半期純利益	108,098	20,686

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108,098	20,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,449	4,864
その他の包括利益合計	1,449	4,864
四半期包括利益	109,548	25,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,548	25,550

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額 (注)
	函物及び機械 設備関連事業	介護関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,146,318	478,660	2,624,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,146,318	478,660	2,624,979
セグメント利益又は損失(△)	164,630	△49,505	115,125

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額 (注)
	函物及び機械 設備関連事業	介護関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,188,617	474,584	2,663,201
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,188,617	474,584	2,663,201
セグメント利益又は損失(△)	70,730	△33,766	36,964

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。